

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	① 水道水の安心給水の推進
------	--------------------	----------------	------------------	-----	---------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆水道水の高品質化の推進のため、水質試験、貯水槽水道管理者への指導・助言を行うなど水質管理の充実を図るとともに、安心して水道水を利用できるための取組などを進めている。 ◆安定給水の確保のため、水源の確保やISO9001の推進、老朽配水管の布設替、浄水場施設整備、耐震診断などを実施し、災害や事故に強い水道の整備に向けた取組を行っている。	◆「老朽配水管布設替計画」に基づき、国庫補助を導入し計画的に布設替を実施しており、老朽配水管更新率は目標値を上回る実績となっている。 ⇒今後とも継続的に事業を実施することにより、前期目標を達成する見込である。	73.1%	老朽配水管更新率	%	/	17	32	48	63	78	73.1%
					0	19	43	57	67	78	100.0%
◆高品質で安全な水を今後とも継続して供給していく必要がある。 ◆水道施設は、順次耐用年数を迎え老朽化するため、計画的な施設の改築更新や更新に合わせた耐震化、また、危機管理体制の強化を図ることが課題となっている。					/						
					/						
						H20	H21	H22			
					重要度	85.7	89.3	89.1			%
					満足度	62.4	65.9	69.8			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
災害や事故に強い水道の整備		→	◆老朽化した白沢浄水場の施設整備などの事業を進めるとともに、老朽配水管の計画的な布設替、施設や管渠の「耐震化基本計画」を策定し、主要施設の耐震診断などを実施している。 ⇒老朽配水管の更新や施設等の耐震化を計画的に実施することにより、災害や事故に強い水道の推進を図ることができる見通しである。	◆老朽配水管の次期計画を策定し、計画的な施設の改築更新や耐震化の推進を図る必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	老朽配水管布設替	水道利用者	H20	老朽配水管更新工事延長	m	6,078	8,666	5,010	5,176
						6,596	8,586	4,944	
2	漏水調査	水道利用者	S48	漏水調査延長	km	1,000	750	750	750
						1,000	750	750	
3	松田新田浄水場施設整備事業	水道利用者	H17	ろ過池改造個数	池	2	2	3	0
						2	2	3	
4	防災対策	水道利用者被災した市民	S56	非常用飲料水ポリ袋の購入枚数	枚	1,300	5,500	5,500	0
						1,000	5,500	2,000	
5	水質試験	水道利用者	S53	水道水の水質基準検査実施数	件	3,036	3,036	3,036	2,992
						3,036	3,036	2,992	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	見込み
6	直結給水事業	直結給水可能な3階建て以上の建築物の水道設置者	H9	広報紙等への掲載回数	回	1	4	2	2
				直結給水受付け件数	件	70	50	50	50
7	土地区画整理事業による配水管布設	土地区画整理区域内水道利用者	S63	配水管布設延長	m	14,097	9,076	9,157	8,108
						8,988	9,251	7,039	
8	未給水区域への配水管布設	未給水者及び未給水地域	H6	未給水区域への配水管布設延長	m	4,090	10,951	4,879	11,075
						5,204	7,627	7,923	
9	出水不良等による配水管布設	水道利用者	全期	配水管布設替工事延長	m	3,345	2,431	2,360	3,000
						2,632	2,415	687	
10	配水管移設	水道利用者及び公共施設管理者	全期	配水管移設工事延長	m	3,237	2,584	2,380	5,880
						1,523	1,555	3,499	
11	湯西川ダムの建設負担金	水道利用者	S60	ダム建設負担金	千円	420,000	545,328	621,600	1,081,376
						387,513	433,762	659,625	
12	水源地域対策	水源地域及び水道利用者	H6	水特法・基金事業の負担金	千円	221,354	360,382	332,052	237,168
						157,579	222,875	232,217	
13	配水管等図面の電子情報化	水道利用者	H14	図面管理（配水管総延長）	km	2,956	2,992	3,023	3,054
				図面管理（給水総戸数）	戸	219,600	223,212	226,824	230,406
						222,879	226,491	230,073	
14	給水装置工事指導	宇都宮市指定給水装置工事業者	H9	指定工事店事務連絡会等の開催回数	回	2	2	1	1
				給水装置工事申請件数	件	6,450	6,477	6,000	6,000
15	貯水槽水道への関与	貯水槽水道設置者	H15	戸別調査実施件数	件	500	500	500	500
					件	500	453	572	
				パンフレットの送付件数	件	600	600	600	600
					件	401	475	530	
16	水源地域の住民との相互交流事業	水源地域及び水道利用者	H2	水源地交流事業実施回数	回	2	2	2	2
						2	2	2	

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	② 下水の適正処理の推進
------	--------------------	----------------	------------------	-----	--------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
◆下水道の適正な管理を図るため、公共下水道の整備や合流式下水道の機能改善を進めるとともに、下水道施設の計画的な改築更新などの取組を進めている。 ◆雨水対策の推進のため、浸水被害の解消に向けた雨水幹線等の整備や雨水貯留浸透施設設置の促進などの取組を進めている。	◆施策指標である合流式下水道改善率については、事業実施時期の見直しにより目標値を下回っている。また、老朽管渠更新率については、事業の前倒しなどにより目標値を大きく上回っており、達成率については、総じて概ね達成している。 ⇒平成24年度末における合流式下水道改善率については、下水道法施行令で規定された平成25年度末までに完了する見込みである。また、老朽管渠更新率は、引き続き、計画的に事業を進めていくことにより、平成24年度末の目標値を達成する見込みである。	21.5%	合流式下水道改善率	%	—	4	24	35	48	65	21.5%
			老朽管渠更新率	%	—	0	5	9	21	30	63.3%
課題 ◆生活環境の快適性や利便性ととも公共用水域の水質保全を図ることが課題となっている。 ◆公共下水道(汚水)の整備については、これまで計画的に整備を進めてきており、現在、整備率が約9割を超えるなど概成に向かいつつあることから、今後は、順次老朽化する施設の計画的な改築更新が課題となっている。 ◆今回の震災を踏まえ、災害時における下水道の基本機能を確保することが課題となっている。			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	81.0	86.7	86.0		%	
					満足度	52.9	52.8	54.8		%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
合流式下水道の機能改善		→	◆合流式下水道緊急改善計画に基づき、ごみ除去施設であるスクリーンと貯留施設の整備を実施しており、スクリーンについては、平成19・20年度の2か年で整備完了、貯留施設においては、平成20年度より整備を実施している。 ⇒平成24年度までには半数の完了を予定し、残りについては平成25年度までに完了する予定である。	◆住宅が密集する市街地での工事となることから、周辺住民に配慮した整備の手法を検討しながら、大雨時における合流式下水道からの放流水を改善し、公共用水域の水質保全を図る必要がある。
雨水幹線等の整備		→	◆公共下水道雨水整備計画に基づき、雨水幹線整備を実施しており、鶴田川、西川田川及び新川の雨水幹線の整備を実施するとともに、道路整備に合わせた雨水管渠の整備なども実施している。 ⇒継続して整備を実施することにより、整備完了箇所から市街地の浸水被害の軽減を図ることができる見通しである。	◆河川事業の進捗状況と整合を図りながら、集中豪雨による市街地での浸水被害の解消を図る必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	合流式下水道緊急改善事業	田川第1処理区、田川第2処理区の合流式下水道区域	H16	きょう雑物の流出防止施設(スクリーン)	基	6	0	0	0
				貯留施設設置	か所	6	0	0	3
2	老朽管渠の改築更新	30年以上経過した田川第1処理区の管渠	H16	老朽管渠改築延長	m	0	70	120	130
						150	220	100	
3	公共下水道整備事業	市街化区域の市民及び公共用水域	S32	下水道整備面積	ha	67	43	27	31
						71	38	36	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
4	特定環境保全公共下水道整備事業	市街化調整区域の市民(認可区域13地区)及び公共用水域	S56	下水道整備面積	ha	21	26	28	40
						21	26	42	
5	公共下水道雨水整備計画の推進	公共下水道雨水排水区(市街化区域)の市民	H12	雨水幹線整備延長	m	260	170	400	50
						260	170	400	
6	下水道施設の改築・更新	公共下水道区域の市民及び公共用水域	H12	川田水再生センター工事等の発注件数	件	2	1	2	1
						2	1	2	
				中継ポンプ場工事等の発注件数	件	1	1	1	0
						1	1	1	
7	下水道施設の新設・増設	公共下水道区域の市民及び公共用水域	S37	処理場施設の増設工事及び実施設計を発注した件数	件	2	1	1	2
						2	1	1	
				中継ポンプ場の工事及び実施設計を発注した件数	件	2	0	0	0
						2	0	0	
8	雨水流出抑制対策の推進	市街化区域に住宅を所有または占有している市民	H14	補助金交付決定件数	件	50	50	50	50
						100	113	117	
				設置数	基	126	163	163	163
						144	164	171	
9	公共下水道台帳の整備	下水道利用者	H14	下水道台帳の総整備延長	m	1,826,850	1,886,950	1,922,150	1,948,750
						1,783,700	1,842,400	1,877,600	
				下水道台帳の整備延長	m	90,350	60,100	35,200	26,600
						82,500	58,700	35,200	
10	水質監視・指導	特定施設・除雪施設の設置者	S40	立入調査数	事業場	110	120	130	140
						121	127	130	
11	合併処理浄化槽設備整備事業	市民	S63	補助基数	基	470	470	470	470
						491	463	464	
12	管渠の適正管理	下水道の利用者及び公共用水域	S40	管渠調査・管渠修繕工事	m	4,600	4,600	4,300	4,300
						3,100	3,000	2,600	
				管渠清掃	m	29,000	30,000	23,000	23,000
						30,000	33,000	20,000	
13	水再生センターの適正管理	下水道の利用者及び公共用水域	S40	処理能力	m ³ /日	255,100	219,000	219,000	219,000
						182,804	174,162	186,012	
				放流水の水質試験	回	24	24	24	24
						24	24	24	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
14	ポンプ場の適正管理	下水道の利用者及び公共用水域	S58	施設数（中継ポンプ場）	箇所	12	13	14	14
				施設数（マンホールポンプ場）	箇所	12	13	14	
				各ポンプ場の点検回数	回/月	159	162	171	175
						153	167	169	
				4	4	4	4		
				4	4	4			

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	③ 上下水道施設・資源による環境保全の推進
------	--------------------	----------------	------------------	-----	-----------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆上下水道施設の有効活用を推進するため、小水力発電や太陽光発電設備を設置し、二酸化炭素の排出量を削減し環境負荷の低減を図る取組を進めている。 ◆上下水道資源の有効活用を推進するため、処理過程で発生する浄水発生土や下水汚泥の全量リサイクルなどの取組を進めている。	◆総合計画に掲げた施策指標について、太陽光発電設備や小水力発電設備を設置して、計画的に事業を進めている。 ⇒太陽光発電設備からの発電による二酸化炭素の排出量削減効果は当初の計画通りであるが、小水力発電設備による発電に関しては、稼働状況の検証や出力向上を図る必要がある。	51.4%	水道施設の二酸化炭素排出量削減率	%	/	2.0	8.0	14.0	14.0	14.0	51.4%
					2.7	2.7	3.5	7.2	8.1	8.1	57.9%
課題	◆二酸化炭素の排出量削減については、小水力発電の出力の引き上げが課題となっている。 ◆上下水道資源である、浄水発生土及び下水汚泥については、計画的に有効利用を推進してきたが、福島第一原発事故後は放射性物質が含まれており、今後の有効利用については、適切に対応する必要がある。 ◆温室効果ガスの削減等の社会的ニーズに対応する新たな施策への取組が課題となっている。				/						
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
						重要度	73.8	80.2	76.2		%
						満足度	30.1	31.6	36.7		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	環境負荷低減対策事業	水道施設	H19	太陽光発電設備設置	箇所	0	1	0	0
				小水力発電設備設置	箇所	0	1	0	0
2	下水道資源の有効活用	下水汚泥	H14	資源化工場で熔融スラグ化した脱水汚泥	t	28,341	26,534	22,890	24,399
					t	22,781	22,083	21,607	
				民間事業者へ処理を委託した脱水汚泥	t	765	731	2,497	1,938
3	浄水汚泥の有効利用	浄水汚泥	H20	セメント工場で有効利用した浄水汚泥	t	1,510	1,600	1,570	1,570
					t	1,543	1,356	1,590	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	④ 顧客重視経営の推進
------	--------------------	----------------	------------------	-----	-------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
◆顧客サービスの高品質化を図るため、マーケティング調査などによる顧客ニーズの把握や、上下水道事業に親しみやすい広報紙の発行に努めるとともに、各種イベントによる市民への積極的なPRや子ども達などへのお届けセミナーによる情報発信などの取組を進めている。 ◆財政基盤の強化を図るため、財政構造改革計画の推進、収納率向上、上下水道の未加入や未接続者への効果的かつ継続的な加入・接続促進などの取組を進めている。	◆広報紙等による情報発信や、各種イベントでのPRにより、着実に顧客満足度は向上している。 ⇒H24末の見通しとしては、継続的に広報広聴活動を実施することにより、目標は達成する見込みである。	97.1%	顧客満足度数	%	/	68	69	70	70	70	97.1%
					0	62	66	68	69	70	100.0%
課題 ◆顧客ニーズの多様化・高度化への対応が課題となっている。 ◆節水意識の向上などにより、上下水道料金収入の増収が見込めない状況にある。					/						
					/						
				市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22		
						重要度	55.9	63.4	62.3		%
						満足度	24.3	27.9	34.6		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	水道未加入者の加入促進	給水区域内の水道未加入者	H13	訪問件数	件	4,500	4,300	4,300	4,000
						5,296	2,942	5,134	
2	下水道未接続者の接続促進	下水道整備区域内の下水道未接続者(建物所有者)	S40	訪問件数	件	17,000	15,000	15,000	15,000
						8,215	10,552	14,648	
3	水道料金等徴収業務	上下水道利用者	T5	督促状発布数	枚	110,000	108,000	108,000	108,000
				108,387	111,066	109,818			
				給水停止件数	件	4,000	4,000	4,000	3,000
				3,859	3,707	2,780			
4	受益者負担金賦課徴収事務	下水道受益者	S45	訪問戸数	戸	2,500	3,500	3,500	3,500
						3,235	3,175	3,562	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
5	公共下水道接続工事資金融資斡旋	下水道の供用開始区域内に建物を所有又は使用している、一時に工事資金を負担することが困難な市民	H1	広報紙等への掲載	回	1	1	1	1
				嘱託員による制度PR(訪問件数)	件	2,000	2,000	2,000	2,000
6	開栓・休止受付業務	上下水道利用者	T5	受付件数	件	70,000	70,000	70,000	70,000
						74,774	71,078	70,309	
7	使用水量検針業務	上下水道利用者	S4	検針件数	件	1,350,000	1,365,000	1,380,000	1,395,000
						1,335,133	1,359,310	1,378,009	
8	広報紙の発行	市民	S62	広報紙の発行部数	部	781,600	777,200	774,000	768,000
						781,600	777,200	774,000	
9	イベントの開催	上下水道利用者等	S34	イベント開催, 出展日数	日	6	6	5	4
				イベント等に参加した人数	人	3,540	2,540	2,800	3,200
10	上下水道お届けセミナー	上下水道利用者で市内在住の団体及び小学生等	H15	開催回数	件	44	44	44	39
						34	37	32	
11	上下水道探検ツアー	市民	S33	実施回数	回	3	2	2	1
				参加人数(カッコ内は応募者数)	人	120	80	80	40
12	上下水道モニター	上下水道利用者	H5	会議の開催回数(施設見学会を含む)	回	5	5	3	2
				アンケート実施回数	回	2	2	3	2
						2	2	0	